



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2540

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



CONTENT'S

●表紙	1
●柳谷ガバナー メッセージ	2
●国際ロータリー会長 メッセージ	3
●ガバナーエレクトあいさつ	4
●ガバナーエレクト壮行会報告	5
●地区委員会レポート	6
MPHF、米山功労者ご紹介、新入会員のご紹介	
●コーディネーターNEWS	7
●1月のRIレポート、11月会員数、出席率報告	8
ガバナーより今月のことば、文庫通信	

鹿角市 大日堂舞楽 撮影 能代RC 島崎博人会員

国際ロータリー第2540地区
ガバナー 柳谷悦麿

〒016-0825 秋田県能代市柳町9-23 プラザ都内
TEL.0185-74-8586 FAX.0185-54-5060



職業奉仕について

1月の職業奉仕月間は、クラブおよび地区は下記のために活用するよう奨励されています。

1. 可能であれば、地区レベルの行事でロータリーボランティアを表彰する。
2. ロータリー親睦活動への関与を推進する。
3. 職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱する。
4. 空席の職業分類に会員を入会させるために会員増強活動を推進する。

職業奉仕はロータリーの基本といわれます。ポール・ハリスがシカゴで始めたロータリーは、お互いの職業による相互協力と心許せる仲間との親睦が目的でした。

その後ロータリーが広まる中で、社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕(新世代奉仕)がロータリーの奉仕として規定されてきました。

それらの奉仕の根本理念は2つの標語であらわされています。

1. 「Service above self」(超我の奉仕)
2. 「One profits most who service best」(最もよく奉仕する者 最もよく報われる)

それでは奉仕における主体である我々ロータリアンにおける職業奉仕とはどのようなものでしょうか。「The Rotarian」誌1967年2月号～1973年12月のコラムから抜粋してご紹介します。

「職業奉仕とは何ですか？」

簡単に定義すれば、あなたの職業を通じて他人を助けることです。

職業奉仕とは、職業分類に基づいた会員制度という、まさしくロータリーの原点ともいえる原則に基づいたものなのです。職業の代表者として、各会員はロータリーの職業上の技能、特に自らの事業活動をロータリアンでない人に分け与えることが義務付けられています。

職業奉仕はすべての職業人、すなわち従業員、同業者、顧客、供給者相互関係の基本的な要素です。

職業奉仕を真摯に学ぶロータリアンは、奉仕こそ自分のつとめであると信じています。ユニークなロータリアンの素晴らしい計画はあなた方ロータリアンの重大な責務なのです。

ロータリーに入ったからには、あなたは最も高い倫理基準を掲げ、様々な取り引きにおいて、その倫理基準を守るように心がけなければなりません。

このような職業奉仕の理念を日本のロータリーは大切にしてきました。しかし、最近RIと日本では考え方にずれがあるように感じている会員も多いようです。

今年度地区大会において、黒田正宏RI会長代理は、1.RI職業奉仕委員会を無くそうとする動き。2.今年度のRI会長賞となるプログラムから職業奉仕という言葉が無くなった。3.「ロータリアンの行動規範」の修正。4.ロータリーの奉仕活動として、職業奉仕が表面に出てこない。「手続要覧」の裏表紙から「四つのテスト」がなくなる。などから誤解を招きやすいとしながらも、基本的には日本とRIでずれはない、とお話しされました。入会時に職業分類、「四つのテスト」、「ロータリーの目的」の第2項「職業奉仕に関する声明」など職業奉仕がロータリーの基本であることを強調されていました。

会員の皆様、それぞれの職業奉仕について改めて考えてみませんか…。



2017-2018年度ガバナー

Yanagiya Etsuhiro

柳谷悦磨

多様性はロータリーの強み



親愛なるロータリアンの皆さま、私たちの持つ多様性はロータリーの強みです。この概念は、職業分類が最初に提案されたロータリー創成期にさかのぼります。

多彩な経歴や能力を持つ会員が集まるクラブであるならば、そのような会員がいない団体より優れた奉仕活動が行えるだろうという、とてもシンプルな考え方です。

以降、ロータリーにおける多様性の概念は、より広い意味付けがなされるようになりました。地域社会の現状を正確に反映しているクラブは、より一層効果的に地域社会に奉仕することができるということが分かってきたのです。今日優れた奉仕活動を行うためだけでなく、今後も、将来にわたって強力な組織であるためにも、多様性がロータリーにとって重要であり続けることは明白です。

多様性に関して私たちが早急に取り組まなければならない課題の一つに、会員の年齢層の問題が挙げられます。どのようなロータリーイベントでも、参加者の年齢層を見ると、私たちの組織に持続可能な将来が約束されていないことが、ひと目で分かります。会員数は記録的に増え続け、常に新会員を獲得してはいますが、今後何十年もロータリー活動を続けていかれるような若い会員は、そのうちのごく一部です。将来、強力で有能なロータリーのリーダーシップを確保するためには、今、

若く有能な会員を入会させる必要があります。

また、ロータリーの多様性を論じるのであれば、ジェンダーの観点も避けては通れません。わずか30年ほど前に女性がロータリーに入会できなかったというのは、今では想像し難いことです。それ以降いぶん進歩してきたとはいえ、女性の入会禁止という時代に合わなくなった誤った方針は今も残っています。あまりに多くの人々がロータリーは男性だけのための組織だといまだに考えているために、公共イメージにも会員増強にも悪い影響を及ぼしています。今日、女性会員は全体の21%を少し超えた程度です。これは大きな前進ではありますが、世界の男女バランスを反映し、男性会員と同数の女性会員がいるという、各クラブが目標とするべき到達点にはまだ程遠いと言えます。

入会の動機は人によって違うかもしれませんが、ロータリアンであり続けるのは、ロータリーの会員であることに価値を見だし、ロータリーの奉仕活動が世界にとって価値があると信じているからだと思います。世界のあらゆる場面において多様性を反映したクラブを築き上げることで、ロータリーのさらにいっそう続く変化をもたらす価値が築かれるのです。

A handwritten signature in black ink, reading "Ian Rysler".

2017-2018年度国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

年頭にあたり

国際ロータリー第2540地区 大曲中央ロータリークラブ

ガバナーエレクト 富樫龍紀



新年あけましておめでとうございます。

親愛なるロータリアンの皆様には、健やかな新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

さて、私にとりまして2018年は新たな出発と挑戦の年であります。

それは、私自身昨年末のぎりぎりにガバナーエレクトを拝命し、何をどうすればよいか、分からないままにサンディエゴでの国際協議会への参加となりました。

そもそも私は、今現在柳谷ガバナーのもとで南区ガバナー補佐としての活動をしております。特に今年3月に開催を予定しております南区のIMの準備をしているところです。そして更に今また、ガバナーエレクトを引き受けてしまいました。従って次年度に向けて、エレクトとしての準備に追われているところでもあります。

一周遅れのガバナーエレクトですので、昨年末に補講という形でGETSいわゆるガバナーエレクト研修を受けて参りました。ガバナーとしての心得、管理とは何か、地区の目標設定はどうするか……など様々な事柄について教えて頂きました。

補講とはいえ、まさにロータリーのリーダーとしてのあり方を説明されるたびに、益々不安を抱かざるをえませんでした。

いずれにしても、今ロータリーは大変な変革期であることを認識して参りました。2016年の規定審議会から大幅な改定がなされ、ゆるくなったといえますか誰もが入会しやすく、また月に二回の例会の開催でも良い、など規定の緩和がなされたと感じております。

そんな中で日本のロータリーは、世界のロータリーの歩もうとする方向と同じなのか。2020年には日本のロータリーも100周年を迎えることになります。当地区の抱える課題は何か。地区としての会員数の確保や財団、米山などロータリーの活動が会員皆様の意向や地域のニーズに沿っているだろうか。いろいろと考えますと、やるべき事が山積しているようです。まさにロータリーの真価が問われる時に来ていると感じております。

私自身まだまだロータリーについて勉強不足であります。国際協議会に出席し、『入りて学び、出でて奉仕せよ』の言葉を実践して参りたいと思っています。

まずは地区のリーダーとなるべく、柳谷ガバナーのもとでガバナー補佐として、ガバナーエレクトとしてしっかりと学び、行動することで微力ながら地区のロータリー活動に努めて参りたいと思っていますので、宜しくお願い申し上げます。

結びに、会員皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げますとともに各クラブの益々のご隆盛をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

ガバナーエレクト壮行会報告

地区幹事 塚本 真一

12月9日午後5時から能代市プラザ都にて、約110名の会員の参加の下に開催。

まず柳谷ガバナーが挨拶で、この難局にあって大役を引き受けて下さった富樫ガバナーエレクトへの感謝と激励の言葉を申し述べ、それを受けて富樫氏は、大曲地区の各クラブの協力に対する感謝と、次年度ガバナーとしての決意を表明された。ガバナー夫妻からは富樫エレクトとご令嬢に対し、国際協議会への贈と花束の贈呈があり、新

しい地区役員を紹介等のセレモニーが行われた。

懇親会は平澤直前ガバナーから国際協議会での心構えについてのお話しと乾杯で開宴、終始和やかに歓談し、最後は宮下パストガバナーの中締でお開きとなった。

ガバナーの地元である能代での行事はこれが最後、地区幹事からもこれまでのご協力に感謝申し上げます。



地区委員会レポート

12月9日（土）地区財団資金管理セミナー

- ◆日時2017年12月9日（土） 14時～15時30分
- ◆会場：プラザ都 4F
- ◆出席者：地区関係者10名、クラブ49名
合計59名

【内容】

- ・地区財団小委員長からの報告
 ポリオ・プラス小委員長 渡部 栄太
 資金推進小委員長 境 一孝
 財団資金管理小委員長 田村 典美
 補助金小委員長 松村 讓裕
- ・クラブMOU提出、補助金申請について
- ・質疑応答



PHF・米山功労者ご紹介

○秋田ロータリークラブ
梶野 公靖 Kajino Kimiyasu




表彰分類 入会年月日 2000年9月20日
 MPH4 15回目
 マルチプルメジャードナー

○秋田ロータリークラブ
鈴木 茂夫 Suzuki Shigeo



表彰分類 2009-2010年度 クラブ会長
 米山功労者マルチプル5回目 入会年月日 1974年1月9日

○湯沢ロータリークラブ
中川 秀悦 Nakagawa Shuetsu



表彰分類 2013-2014年度 クラブ会長
 MPH4 4回目 入会年月日 2007年7月

○湯沢ロータリークラブ
松田 光雄 Matsuda Mitsuo



表彰分類 1977-1978年度 クラブ幹事
 MPH2 2回目 1984-1985年度 クラブ会長
 入会年月日 1970年11月

新会員のご紹介 ようこそロータリーへ

○秋田西ロータリークラブ
工藤 隆太 Kudou Ryuuta



職業分類 クリーニングサービス 役 職
 勤務先 クリーンプラン秋田 入会年月日 2017年12月1日
 紹介者 小野 ルミ子

○秋田西ロータリークラブ
佐々木奈津子 Sasaki Natsuko



職業分類 金融・証券・保険 役 職
 勤務先 日本生命相互会社 入会年月日 2017年12月1日
 秋田支社秋田営業所 紹介者 玉木 修

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2018年1月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
第1ゾーン担当

今年度のライズリー会長のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」であります。ロータリーが岐路に差し掛かっているとされる現在、我々は変革(Transform)を目指さなければなりません。

去る11/20~11/23に開催した第46回ロータリー研究会には全国から多くのシニアリーダーの皆様にご参加を頂き盛会裏に終了できました。研究会では「日本の心をどう世界に発信するか」を基本理念にプログラムを構成して実施しました。幸い参加された皆様から好評を得ましたことは望外の喜びです。

具体的には、セッション1では「日本のロータリー100周年を迎えてのもう少しの努力」(日本のロータリーのこれまでの歴史と将来展望)、セッション2では「日本の元気なクラブ」(それぞれの規模のクラブの努力成果)、セッション3では「変化をもたらす日本のロータリーの将来ヴィジョン」(世界と乖離しない日本のロータリーの存在意義)の研究を行いました。

国際ロータリー理事 石黒慶一

世界を変える行動人 (People of Action)

○公共イメージに関連するさまざまな課題に取り組むため、ロータリーは今年度、「世界を変える行動人」と題された新たな公共イメージキャンペーンを開始しました。

○ロータリーでは、地域に根付いて活動する会員達が、地元や世界に持続可能な変化をもたらす為に、行動しています。

○公共イメージキャンペーンの目的

1. 認識と理解の間の格差を埋める
2. 「ロータリーとは何か」を定義し、ロータリーによる影響を明確に示す
3. 会員の参加、目的意識、寄付、活動を促すための土台を築く
4. それぞれの地元でふさわしい広告をクラブが作れるようにする

○目的を果たすための戦略

1. People of Action (世界・地域を変える行動人)としてのロータリアンを紹介する。
2. 地域社会に課題・問題があれば、解決策と可能性を見出すロータリアンの姿を表現する。
3. 長期的な解決策をもたらすために、ロータリアン、地域社会のパートナー、専門家がビジョンを共有し、アイデアを交換する姿を示す。

○具体的な戦術…RPICとしての提案(ロータリアン自身が広告塔です。)

1. 身近に「世界や地域を変えたロータリアン」が居て、地域へ紹介されてなければ、商工会議所ニュースや法人会広報誌等を通じて、地域へ紹介して下さい。
2. 地域社会の問題解決の為に、ロータリアンは地域社会(ロータリー以外の団体)のパートナーやリーダーと共に積極的に意見交換し、問題解決にご尽力下さい。

○キャンペーンの一環として、ロータリーのブランドリソースセンターから新しい「メッセージ作成ガイド」をダウンロード出来ます。

○このガイドには、すべてのロータリアンが一貫した方法で心に訴えるロータリーのストーリーを伝え、ロータリーへの参加を促す為のメッセージが紹介されています。

○ブランドリソースセンターでは、公共イメージに関するその他のリソースを利用できます。

第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 鈴木秀憲

「増強についての思い」

現在の日本ロータリーの会員数は多少の増加傾向にあるものの、40%は30人以下であると言われていています。また平均年齢は60歳以上が多く70歳以上のクラブも少なくありません。RIは地区の構成として1地区2700人75クラブ(1クラブ36人となります)が望ましいと述べています。会員増強の課題の1つは斎藤RI理事も仰っていましたが、30人以下のクラブの会員数をいかにして増やしていくかだと思います。小人数クラブは元々活動できる会員数が少なく、またその地域での子クラブ、孫クラブ、ひ孫クラブである事が多く、これは親クラブに対してある意味不利になる事でしょう。

1つの参考事例を述べてみたいと思います。昨年2570地区の坂戸さつきクラブは年初会員数18名でスタートして8名増やして増加率44.4%としています。

1) 年度会長は就任前から増強に対する強い思い、やる気があり、7月当初に会長推薦で2名入会させています。

(常にパンフレットと入会申込書を持ち歩き、これはと思う人にはロータリーを説明して入会を勧めていた)

2) 会長のリーダーシップを意気を感じてクラブ会員一丸となって積極的に勧誘を行った結果7月から11月まで5ヶ月間毎月のように入会者を得ています。

3) 退会者(パスト会長)の再入会や7月に入会した新会員による紹介で新たな入会者もありました。

この例から分かることは、会長を始めとしてクラブ会員全員のやる気と普段からの積極的な継続的勧誘奉仕活動があれば増強は確実に出来るという事ではないでしょうか。またクラブ戦略委員会等で目標が決まったならば、会長や増強委員長等が控えることなく常に増強活動を引っ張り続けていく姿勢の大切さが重要であることを示しています。増強して仲間を増やす事はロータリーの素晴らしさを広める事になるのです。これは正に公共イメージアップにも通じる事でしょう。

「為せば成る 為さねばならぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり」上杉鷹山

第1ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 坂本元彦

柳谷悦磨ガバナーより

今月のことば

わが実力の不十分な
ことを知るこそ
わが実力の充実なれ
アウグステイヌス

文庫通信364号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

◎「国際ロータリー会長 田中作次さんに聞こう！
ロータリーとは、奉仕とは、人生とは
(講演及び会員との質疑応答)」 田中作次 (2017) 11p
(D.2570地区大会報告書)

◎「地球温暖化防止の切り札は？」 牛山 泉 2017 17p
(D.2550地区大会の記念誌)

◎「世界を照らすLED」 天野 浩 2017 9p
(第45回ロータリー研究会報告書)

◎「四国で一羽の蝶々がはばたくと、世界でハリケーンが生じる
～情熱と意志を持って」 北川正恭 2017 10p
(D.2670地区大会記録)

◎「安全保障と危機管理」 越野修三 (2017) 10p
(D.2830RYLA報告書)

◎「日露首脳会談と政局の行方」 岸井成格 (2017) 19p
(D.2660地区大会報告書)

◎「母子の健康」 対馬ルリ子 2017 6p
(D.2830地区大会記録誌)

◎「福井県の恐竜時代」 東 洋一 2017 4p
(D.2650地区大会記念誌)

◎「山形大学のナスカの地上絵研究」
山形大学研究チーム 2014 5p
(D.2800地区大会講演集)

[上記申込先：ロータリー文庫]

分区	クラブ名	6月末 会員数	7月1日 会員数	11月末 会員数	女性 会員数	40歳未満 会員数	増減	例会出席率
大館・鹿角	大 館	36	36	36	1	1	0	51.43%
	花 輪	19	19	19	1	0	0	85.14%
	鷹 巣	14	14	16	1	0	2	53.10%
	大 館 北	18	18	19	3	0	1	67.11%
	十和田秋田	27	27	27	0	1	0	87.43%
	大 館 南	35	35	36	1	0	1	77.08%
	大 館 中央	17	17	18	1	0	1	79.16%
能代・男鹿	能 代	56	57	56	5	4	-1	88.89%
	能 代 南	9	9	10	1	0	1	92.50%
	男 鹿	12	12	12	3	1	0	88.90%
	二 ツ 井	9	9	9	1	0	0	81.50%
	五 城 目	14	14	14	0	0	0	64.00%
	潟 上	32	32	33	0	0	1	80.84%
	男 鹿 北	16	16	16	0	2	0	65.62%
	山 本	21	22	21	0	2	-1	89.00%
秋 田	能 代 白 神	14	14	14	6	0	0	71.43%
	秋 田	93	93	87	4	0	-6	80.00%
	秋 田 東	72	72	76	4	4	4	100.00%
	秋 田 港	37	37	39	3	0	2	89.67%
	秋 田 北	46	46	47	2	0	1	100.00%
	秋 田 南	25	25	26	1	2	1	84.00%
	秋 田 中央	37	37	41	2	1	4	82.12%
	秋 田 西	12	12	13	3	1	1	66.67%
本 庄・由利	本 庄 荘	31	31	32	0	1	1	64.20%
	矢 島	10	10	10	0	0	0	62.50%
	仁 賀 保	9	9	9	0	0	0	100.00%
	象 潟	7	7	7	0	0	0	78.00%
	本 庄 東	21	21	21	0	1	0	68.70%
	本 庄 南	9	9	9	0	0	0	92.59%
大 仙・仙北	大 曲	53	54	55	5	3	1	81.75%
	角 館	11	11	12	1	2	1	70.60%
	大 曲 南	15	15	14	2	1	-1	100.00%
	大 曲 中央	11	11	11	4	1	0	100.00%
	田 沢 湖	16	16	16	1	1	0	93.75%
横 手・湯沢	大 曲 仙北	14	14	14	4	0	0	90.00%
	湯 沢	62	61	63	0	1	2	62.60%
	横 手	63	63	63	4	0	0	80.50%
	横 手 南	66	65	65	2	2	0	96.04%
	西 馬 音 内	16	16	16	1	6	0	62.50%
	湯 沢 南	19	17	17	0	1	0	75.75%
	稲 川	7	7	7	2	0	0	90.00%
合 計	横 手 東	13	12	12	0	0	0	81.25%
	42RC	1124	1,122	1,138	69	39	16	80.39%